

業 務 説 明 資 料

1 件名

街に広がる音プロジェクト制作運営等業務委託

2 事業の実施目的

横浜市は、「文化芸術創造都市」として、現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ」、ダンスフェスティバル「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA」、音楽フェスティバル「横浜音祭り」といった横浜らしい特色ある芸術フェスティバルを開催しています。2018年は、ラグビーワールドカップ2019TM及び東京2020オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、3回目の音楽フェスティバル「横浜音祭り2019(仮称)」を開催する予定です。

街に広がる音プロジェクトは市民参加型事業として世代、国籍、ジェンダー、障害の有無を越えてオールジャンルのアーティストが参加し、市民が主役となりフェスティバルを盛り上げる当事者として賑わいを生み出すことを目的に実施します。ラグビーワールドカップ2019TMの横浜開催日及び日本代表戦開催日においては、本事業を通じて試合に訪れる訪日外国人などをもてなし、フェスティバル認知拡大、PRを行うことで期間中の機運を醸成します。また、その他フェスティバル期間中(2019年9月15日～11月15日)に開催される、周辺イベントとの連携を積極的に行うことで一体的な賑わいを創出します。

3 事業の実施内容

「横浜音祭り2019(仮称)」の開催期間の週末を中心に市内の人々が賑わうオープンスペースでプロ・アマを問わないオールジャンルのアーティストが観覧無料のパフォーマンスを行い、横浜を音楽で染め上げます。

4 開催概要

(1) 日時(予定)

平成31年(2019年)

9月20日(金)、21日(土)、22日(日)、23日(月・祝)、28日(土)、29日(日)、
10月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、14日(月・祝)19日(土)、
20日(日)、26日(土)、27日(日)、

11月2日(土)、3日(日)、4日(月・休)、9日(土)、10日(日)

全20日間開催 全28ステージを予定。

13時～17時の間で実施を予定 ※屋外会場は荒天中止

(2) 会場候補

クイーンズスクエア横浜クイーンズサークル、グランモール公園 円形広場、
JR 桜木町駅前広場、里山ガーデン、たまプラーザ テラス ゲートプラザ1
階 フェスティバルコート、戸塚駅東口ペDESTリアンデッキ及び西口広場、
日産 グローバル本社ギャラリー、MARK IS みなとみらい 1F グランドガレ
リア、元町ショッピングストリート、山下公園 バルコニー、ららぽーと横
浜 セントラルガーデン、ランドマークプラザ 1F サカタのタネ ガーデンス

- クエア
- (3) 出演者 公募により募ったアーティスト、ゲストアーティスト
 - (4) ジャンル オールジャンル（ジャンル不問）
 - (5) 事業規模(見込) 街に広がる音プロジェクトの実績単価を基にした想定では、約 34,000 千円です。
 - (6) 目標値 来場者数 延べ 27,000 名以上 ※連携イベントを含む
募集組数 250 組以上

5 業務概要

街に広がる音プロジェクトの制作運営、警備、広報、事務局等(以下「本業務」)についての業務です。

平成 31 年度横浜市各会計予算が横浜市会において議決されることを停止条件とする案件ですので、予算の議決がなされないときは成立しません。

また、平成 31 年度事業計画と予算が横浜アーツフェスティバル実行委員会において承認されることも停止条件とする案件ですので、承認がなされないときは成立しません。

6 業務内容

本業務は、「2 事業の実施目的」や「3 事業の実施内容」を踏まえ、次のとおり行うこと。

(1) 運営事務局の運営

- ア 出演者及び一般問合せ対応。
- イ 問い合わせ用の電話回線（1 回線）を取得すること。
- ウ 応募及び一般問合せ状況における報告(週 1 回)。

〈スケジュール〉

出演者募集期間：平成 31 年 6 月 3 日（月）～7 月 15 日（月）

事務局設置期間：平成 31 年 4 月 1 日（月）～12 月 2 日（月） 9:00～18:00

※土日・祝日は休業。但し開催日は電話対応を行うこと。

事務局員：1 名以上

(2) 出演者募集及び、出演者にかかわる業務

- ア 出演者募集要項の作成
- イ 出演者募集チラシデザイン制作・印刷業務
- ウ 出演者応募情報の取りまとめ・管理
 - ・ 応募手段については Web エントリーやメールの他、費用対効果と幅広い世代からの公募を受け入れられる体制を考慮し協議の上、決定すること。
- エ 出演者との調整・連絡
- オ 開催日における出演者の控室運営
- カ 出演契約または参加同意書（経費負担、出演内容等）の締結
 - ・ 出演者の出演を担保するため出演日時等や、また費用負担、肖像権の使用等について明確にし、委託者が作成する書面により、全ての出演者と契約または同意書を締結し、その書面を

委託者に提出すること。

キ 出演者への説明会の運営

- ・ 受託者は、会場予約及び会場費の支払いを除く、資料作成・印刷、会場設営、受付、撤去等の全ての業務を行うこと。

ク 出演者への飲料手配

ケ 出演者向けのアンケート調査

コ 出演者の審査業務

- ・ 受託者は、委託者と協議の上、出演者を決定するための審査項目を決定すること。
- ・ 受託者は審査項目を基に出演候補者を決定する。
- ・ 出演者の決定については、出演候補者を基に、委託者が行うこととする。

(3) 実施運営（進行、運営、警備等）計画の立案・図面作成

ア 会場及び周辺の調査及び必要に応じた周辺施設等への説明

イ 各会場の会場設計

- ・ パフォーマンスエリア、観覧エリア及び音響等の設置については周辺の住宅、店舗、ホテル等を考慮した設計を行うこと
- ・ 各会場の特性や許可された内容、出演者及び出演団体の人数や実施内容、曲目等を踏まえた設計を行うこと。
- ・ 会場の手配は委託者が行うこととする。

ウ 実施運営（進行、運営、警備等）計画の立案

- ・ 受託者は、本業務の実施運営に必要な業務等を整理し、実施運営計画を立案のうえ、委託者に説明を行うこと。委託者に説明の後、本計画を基に実施運営マニュアルの作成を行うこと。

エ 必要に応じた周辺住民等への対策（案内文のポスティング等）

オ 実施運営・警備マニュアル、進行台本の作成

マニュアルにおいて最低限以下の項目を盛り込むこと。

- ・ 開催概要
- ・ 業務担当者一覧、連絡系統図
- ・ 関係各所（警察、消防署等）連絡先一覧
- ・ 会場レイアウト図
- ・ 舞台及び設備等図面
- ・ 実施スケジュール（各セッションごと）
- ・ 設備等、搬入車両等の動線
- ・ 警備計画
- ・ 警備員、運営スタッフ等当配置図
- ・ 看板等掲示物レイアウト及び配置図
- ・ 緊急時（悪天候、天災等）の避難計画や対応方法
- ・ 会場備品一覧
- ・ 出演者、スタッフパス（案）

- ・ 出演者プロフィール
- (4) 広報業務
- ア 広報計画の策定
 - ・ 市内のみならず市外を含め、広く出演者を募り、募集及び開催についてコストに見合った効果的な発信ができる広報計画を委託者との協議の上、策定する。発信・認知拡大においてラジオやテレビ、新聞等のマスメディアを有効に活用すること。
 - イ 開催チラシのデザイン制作・印刷業務
 - ウ チラシの掲出・配架業務
 - エ 当日パンフレットの制作・印刷業務
 - オ Webサイトの運営・情報更新
 - ・ サーバー、ドメインは委託者が手配する。
 - ・ 対応可能デバイスはPC・スマートフォン、タブレットを想定し、ブラウザは Google Chrome、Internet Explorer、FIREFOX、Safari の最新バージョンに対応できること。
 - カ Webサイトのデザイン制作
 - ・ Webサイトのデザインコンセプト・構成については、委託者の方針に沿って決定する。
 - ・ 英語の併記(出演者、会場、日程等)を行うこと。
 - キ ステージにバックボート及びA看板等のプログラムボードの装飾物の制作
- (5) 舞台にかかる業務
- ア 舞台進行業務
 - ・ 出演者とのステージにおける調整を行う。
 - ・ 舞台における安全管理
 - イ 音響機材手配・設営撤去・オペレーション
 - ・ 会場の電源環境に応じて発電機を手配すること。
 - ウ MCスタッフの手配・運用
- (6) 運営警備業務
- ア 運営マニュアル・警備マニュアルに沿った人員の手配
 - イ 各会場の設営・撤去
 - ウ 来場者の整理整列・動線管理
 - エ 会場備品手配(テント、パイプ椅子、長机等)
 - オ 各会場の動員集計
 - カ 当日パンフレット等の配布物の折込み、及び配布
- (7) その他業務
- ア 著作権申請補助
 - ・ 支払いは委託者が行うものとする。
 - イ イベント保険への加入
 - ・ 出演者、スタッフを対象にした傷害事故にかかる保険への加入。
 - ・ 会場により指定の保険会社がある場合には、別途加入する。
 - ウ 業務実施報告書作成

- エ 各会場のスチール記録を撮ること。
- (8) 開催中止に伴う費用負担について
台風、暴風、地震などの天災によりプログラムを終日中止と判断した場合、開催当日に係る人員及び機材手配等の費用負担について次の通りとする。

中止決定時期	委託者負担分
開催日当日・前日	該当費用の全額
開催前々日以前	該当費用の8割

7 成果品の作成

- (1) 成果品は次のものとする。
実績報告書
- (2) 成果品は次の場所に納品すること。
横浜アーツフェスティバル実行委員会事務局
(横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル6階 横浜市文化観光局文化プログラム推進課内)
- (3) 本事業に係る成果品の権利は実行委員会に帰属するものとし、受託者はその成果品を自ら利用し、又は第三者に帰属させてはならない。

8 履行期限

平成31年4月1日(月)から平成31年12月31日(火)

9 履行場所

横浜アーツフェスティバル実行委員会が指定する場所

10 留意事項

- (1) 本業務の実施に際しては、実行委員会事務局と十分な協議を行いながら進めることとし、本業務説明資料に記載のない事項及び疑義のある場合は、別途協議の上、決定するものとする。
- (2) 本業務の検討内容及び進行状況等について、実行委員会事務局が報告等を求めた場合、特段の理由なくこれを拒んではならない。また、実行委員会が公表している又は実行委員会事務局が認められた情報以外の情報を第三者に漏らしてはならない。
- (3) 受託者は、本業務におけるデザインについて、商標登録等されていないオリジナルのものであること及び第三者の著作権等を侵害するものではないことを保証するものとする。万一、第三者から権利侵害の訴え等が生じたときは、受託者は自己の責任においてこれを解決するものとする。
- (4) 本業務の全部を第三者に委任し、又は請け負わせることは認めない。また、本業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ実行委員会の承諾を得なければならない。
- (5) 本業務の成果物に係る使用权及び著作権(著作権法(昭和45年法律第48号)第21条から第28条までに規定する権利をいう)は、写真・イラスト等を含め、全て実行委員会に帰属し、受託者

はその成果を自ら利用し、又は第三者に帰属してはならない。また、実行委員会が2次利用を含めて、これを自由に使用できるものとする。これにより受託者に生じた、いかなる損害についても実行委員会は責任を負わないものとする。

- (6) 地元との調整を密に行い、商店街、施設管理者等の開催会場に関わる関係者の意向に沿い、地域の特性を活かした運営を行う。
- (7) 受託者は、委託者と週1回から2回程度、定期的に協議を行い、業務を進めていくこと。ただし、進捗状況等を委託者及び受託者で協議し、定期的な協議の実施が難しいと判断した場合にはこれに限らない。
- (8) 広報や告知及び装飾等における制作物については、委託者の指示に従いフェスティバル全体のデザインコンセプトにトーン&マナーの統一すること。
- (9) 本事業のメインビジュアルについては、委託者が別途指定するデザインを使用すること。
- (10) ラグビーワールドカップ 2019TMの横浜開催日及び日本代表戦開催日にあわせて、開催会場または横浜駅周辺において、訪日外国人などに向けた「日本伝統文化」の要素を取り入れた企画を行うこと。
- (11) 個人情報を取り扱う事務に従事するにあたり、個人情報を取り扱う場合に遵守すべき事項並びにその他個人情報の保護に関する法令等に基づく罰則の内容及び民事上の責任についての研修を受講すること。